

標識クエを放流しました。

○山口県と国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所八重山庁舎（沖縄県石垣市）は、昨年から共同研究により、高級魚として知られる『クエ』の資源管理に向け、記録計（アーカイバルタグ）を用いた行動追跡を行っています。

今般、クエの腹腔内に、記録計を装着し、本県日本海側に放流しましたので、ご紹介します。



クエに麻酔をかけているところ



生殖巣にチューブを挿入して性別確認



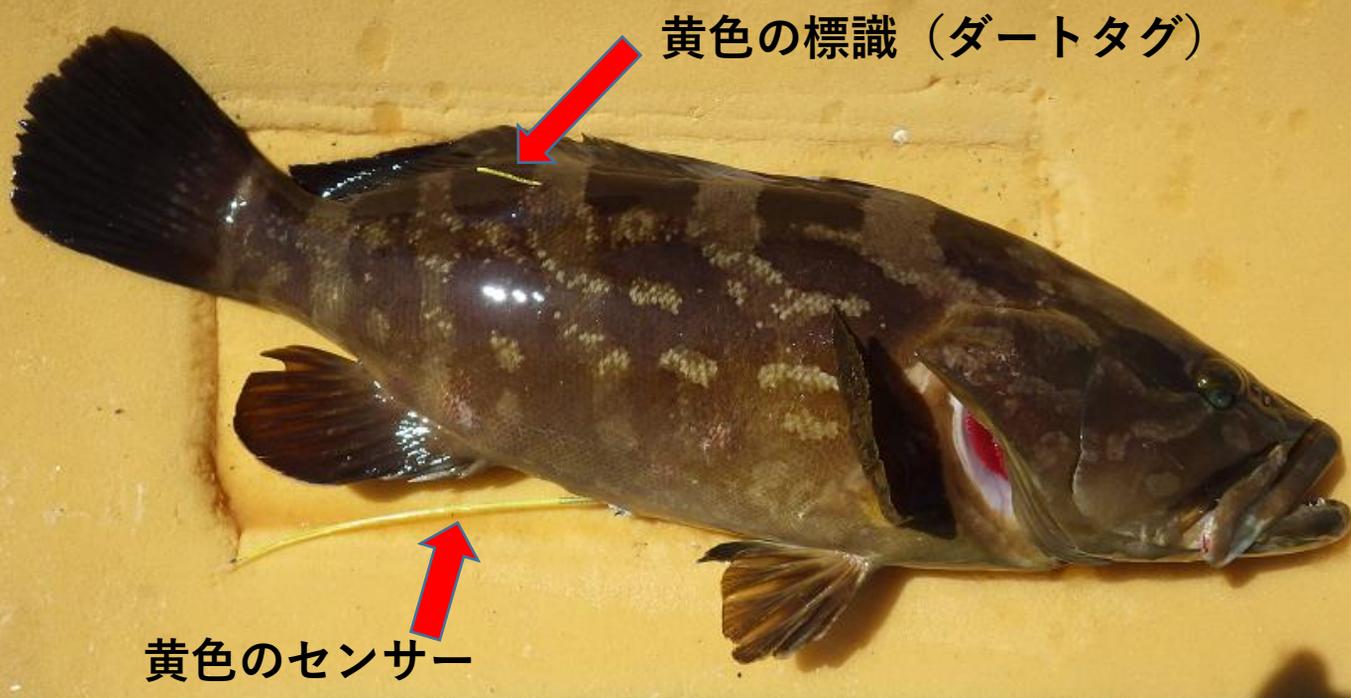
腹部を切開し、記録計を挿入、縫合。



第2背ビレ左右基部にダートタグ装着

○記録計装着後、水槽内で休ませ、翌日日本海側に放流（10尾）しました。

放流したクエの特徴



お尻から黄色のセンサー、背中に黄色の標識が付いています。

○クエは本県外海の漁業者にとって重要な漁獲対象種ですが、その生態は不明な部分が多く、今後、クエの資源管理を適正に行うためには、その生態を解明することが第1歩となります。

○記録計には貴重なデータが記録されています。標識の付いたクエを発見されましたら、ご一報くださるようお願いいたします。※市場価格より高めで買い取らせていただきます！

【連絡先】

山口県水産研究センター外海研究部

電話 0837 (26) 0711 (担当：國森、渡邊)

(企画情報室)